a whaling ship
ほげい船

基本理念
私達は心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院となることを目指します。
独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●大串文隆／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

新年度スタート

NHO 高知病院　院長
大串　文隆

平成 30 年度がスタートしました。どの職場においても 4 月は人事異動がありますが、特に国立病院機構においては中四国グループ内での人事交流のため個々の病院職員が多数入れ替わることが恒例となっています。医局人事による医師の異動ももちろんありますが、機構においては特に医師以外の職員に大きな動きがみられます。今年も高知病院に多大な貢献をしてくれた山田事務部長、長谷川看護部長はじめ多くの職員が他施設に異動しましたが、代わって、これからの高知病院を支えてくれる淺松事務部長、矢野看護部長はじめたくさんの仲間が新しく加わってくれました。国立病院機構の人事異動については、問題もしばしば指摘されていますが、他施設で様々な経験をした職員が加わることで、新しい考え方が導入され病院の活性化に繋がることが期待できます。この新メンバーを加えた力を病院の発展にどのように反映させていくかが重要な課題となっています。

平成 30 年は診療報酬と介護報酬の同時改定に加え、医療計画と介護保険事業支援計画の見直しと、医療費適性化計画の見直し、さらには、全国の市町村による在宅医療・介護連携推進事業の取り組みや、国保改革に伴う保険者努力支援制度などの改革が目白押しになっています。今回の診療報酬改定の最重要ポイントは地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化、強化、連携の推進で特に後半は地域医療構想を前進させることを意味しています。薬価制度についても薬価制度の抜本改革に向けた基本方針に基づき国民の負担減と医療の質の向上を実現する観点から改革が進められています。このような医療環境の中、高知病院がどの方向に向かうべきなのか厳しい判断を求められていますが、良質で安全の医療を提供することはどのような状況においても変わることはありません。今こそ、全職員が一丸となって高知病院の質向上に努めていくことが重要ではないかと思います。

今年は 2 月に韓国平昌で冬期オリンピック・パラリンピックが開催されました。オリンピックは金メダル4, 銀メダル5, 銅メダル4の 13 個、パラリンピックはそれぞれ 3 個、4 個、3 個の計 10 個と非常に多くのメダルを獲得し私達に大きな感動を与えてくれました。金メダルを取った種目の中に女子のパシュートという競技があります。パシュートは 3 名の選手で隊列を組みチームで速さを競う競技ですが日本は菊池、佐藤、高木姉妹の 4 選手で勝ち抜き、決勝では佐藤と高木姉妹の 3 選手でチームを組みオランダチームと戦いました。オランダチームは全員個人でメダルを取っているメンバーで個々のタイムは日本チームより優れており、体格も良く日本選手は不利にみえました。しかしスタートした序盤はオランダチームに遅れていましたが、徐々に追いつき結果的には圧倒的な強さで勝利しました。素人ですので勝因は詳しくはわかりませんが、3 人が隊列を乱すことなくチームが一つになって戦っていることは伝わってきました。チーム力でオランダに勝利したといっても過言ではないかと思います。チームという点から高知病院を考えてみますと全職員が同じ考えをもつまとまりのある集団となることで強い力を発揮できる組織へと変化することが可能です。高知病院は一応公的病院に位置づけられていますが、公的な支援はほとんどなく厳しい環境にある弱い組織です。高齢者人口が増え医療費抑制が喫緊の課題となり、病院運営が大変な時期ですが職員が自覚を持つことで団結力を高め高知病院のチーム力を強化し、この難局を乗り切っていきましょう。

新幹部職員紹介

事務部長　淺松　誠治

4月1日付けで事務部長として赴任いたしました淺松　誠治（あさまつ　せいじ）と申します。

現在の高知病院は、まだ国立時代であった平成12年10月に国立高知病院と国立療養所東高知病院が統合して出来た統合新病院で、当時、四国厚生支局の職員として関わらせて頂いたことから大変思い入れの深い病院ですが、勤務させて頂くのは今回が初めてとなります。

私事ですが、平成19年度から単身赴任が始まり12年目に突入しました。家族はうどん県である香川県の丸亀市に在住で、私は大のうどん好きのため、週末にはお気に入りのうどん屋さん巡りを楽しみに家族の元に帰っています。

また、7、8年ほど前に、当時愛媛病院の岩田院長先生から誘われて始めたバドミントンですが、高知病院でもバドミントンクラブ?の仲間に入れてもらい、週1回皆さんと一緒に楽しませてもらっています。

さて、平成30年度は、国立病院機構の第3期中期目標・中期計画期間の最終年度に当たる総括の年度でもあります。中期計画最終年度を有終の美で飾れることを目標に、当院の健全な病院運営に少しでも貢献できるよう精一杯努力する所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

看護部長　矢野いづみ

4月1日付で看護部長として赴任いたしました矢野　いづみと申します。高知病院には、6年前に勤務していました。高知病院の玄関ロビーには、大きなクジラのモニュメントが変わらず泳いでおり、6年もたったとは思えず懐かしい思いがいたしました。

高知病院は、中四国グループ内で一番勢いのある病院です。毎年5月に開催される「健康フェスタ」は、第10回目になりました。また、毎月実施されている地域診療連携フォーラムは、第142回目となり14年間も継続されています。早くから地域と連携した取り組みが行われ、地域に信頼される元気な病院となっています。このような高知病院で再度働ける機会に恵まれ大変うれしく思っています。

常に医療の中心は、患者さんであることを意識し、看護スタッフ一人ひとりがより良い看護ができる事をめざし、取り組んでまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

新医師紹介

外科医長　本田　純子

4月から呼吸器外科に赴任いたしました本田　純子（ほんだ　じゅんこ）です。高知出身で徳島大学を卒業し、当時の徳島大学第二外科に入局しました。高知病院へ来て、当たり前に存在する土佐弁に囲まれ、高知に帰ってきたんだと実感しています。徳大学生時代から人生の約半分以上を徳島で過ごし、高知出身でありながら、高知の美味しいお店・新しく出来た道などなどほとんど???です。近隣情報など、耳寄りな地域情報があればぜひ教えて下さい。

この度、高知病院で勤務するにあたり乳腺疾患の窓口になることを期待され乳腺科まで作って頂きました。期待はずれにならないように、地域の人に寄り添った診療が出来ればと思います。看護師さんはじめ多職種のかかわる疾患であり、皆様方のご協力がなければひろがらない分野だと思います。御迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科医師　島本　力

4月より泌尿器科に赴任いたしました島本　力（しまもと　つとむ）と申します。私は、2003年高知大学医学部を卒業後、高知大学医学部泌尿器科学教室に入局。その後高知大学病院などの県内の基幹病院、また国立病院機構呉医療センター、中国がんセンターでも勤務しており、今回は高知県立幡多けんみん病院から赴任致しました。主に泌尿器科内視鏡手術や泌尿器科腫瘍の画像診断を専門としております。

当院泌尿器科は、泌尿器がん治療、排尿障害、腎不全、透析医療と幅広く行っております。特に最近、泌尿器腫瘍に対する腹腔鏡手術、尿路結石に対する内視鏡手術に力を入れ、それらに分野においても、県内で有数の施設となっております。

微力ではありますが、泌尿器がん治療、透析医療を通して、高知市西部を中心とした地域の皆様にお役に立てるよう頑張っていく所存です。よろしくお願いいたします。

呼吸器外科医師　森下　敦司

この度4月より赴任してきました呼吸器外科の森下　敦司（もりした　あつし）と申します。出身は高知（鴨田小学校）で大学は徳島大学出身です。実は初期研修+後期研修1年目を高知病院で過ごしており、5年ぶりに出戻りとなりました。当時は右も左もわからずご迷惑ばかりおかけしていたと思います

が、前任地では呼吸器外科だけではなく乳腺・甲状腺外科もたくさん経験し、それなりに研鑽は積んできたつもりですので、少しずつ恩返しができればいいなと考えております。院内には当時のお世話になったスタッフがたくさん残っており、仕事始めとしては非常にやりやすい環境で働かせてもらっています。

中学時代からしている硬式テニスは今でも何とか続けていますが、筋力の衰えとともにレベルダウンが否めないだけに仕事の合間をぬってもっと体を動かしていこうと思っています。なお、飲み会大好きです。どうぞよろしくお願いします。

消化器内科医師　岡崎　潤

本年４月より消化器内科医師として着任しております岡崎 潤（おかざき じゅん）と申します。徳島県出身で徳島大学を卒業しました。医師３年目の時に徳島大学消化器内科に入局し、同年より1年間、当院の高知病院で消化器内科医として勤務致しました。現在医師９年目ですが、５年ぶりに再度高知病院で勤務でき嬉しく思います。

高知での生活も５年ぶりではありますが、以前住んでいた際に通っていたお店に行ってみたり、病院周辺をランニングしてみたり、既に高知での生活になじめていると実感しております。

今後は当院で消化器内科医として医療貢献できますよう初心を忘れず頑張って参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

婦人科医師　今泉　絢貴

4月より産婦人科に赴任してきました今泉 絢貴(いまいずみ じゅんき)と申します。

出身は徳島県鳴門市で、徳島大学を卒業しました。初期研修は都会生活に憧れて大阪の病院で行いましたが、やはり故郷の徳島を捨てきれず、徳島大学産婦人科に入局しました。２年間、産婦人科医として徳島大学で働かせていただき、今年度より当院でお世話になることとなりました。高知の生活は初めてであり、いろいろな方々に支えられながら日々を過ごしております。

産婦人科医としてまだまだ出来ないこと、知識的に不足していることが多いですが、少しでも高知県の産婦人科医療の支えとなれるように日々努力していきたいと考えております。まだまだ日々の業務をこなすことに精一杯であり、みなさまにご迷惑をおかけすると思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

小児科医師　松岡　文弥

この度、４月１日より当院の小児科で勤務しています松岡 文弥（まつおか ふみや）と申します。出身は三重県で、兵庫医科大学を卒業し、兵庫県で初期研修を終えた後に、高知の人の良さに触れ、旅行で数回来ただけでしたが、高知に引っ越してきました。高知はこれで３年目になります。高知では、高知大学医学部附属病院、高知医療センターに1年ずつ勤務しておりました。当院には、重症心身障害児施設があり、今まで勤務してきた病院とはまた違った貴重な経験ができ、小児科医としてさらに成長できればと思います。

まだまだ未熟で至らぬ点も多々あると存じますが、高知県の小児医療に少しでも貢献できればと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

整形外科レジデント　西殿　圭祐

初めまして、今年度入職させていただいた西殿 圭祐と申します。昭和 61 年生まれで今年 32 歳になります。徳島出身で島根大学を卒業し、徳島大学整形外科に入局しましました。医者４年目で整形外科２年目と駆け出しの整形外科医です。

大学時代に没頭していたことはバンド活動とバックパッカースタイルでの旅です。これらに没頭するあまり学問の方はかなりおろそかになりました。今回は後者について少し語りたいと思います。

バックパッカースタイルを定義するのは難しいですが、私が思う定義は、一般的な旅行が世界遺産などの観光地を巡ることに重きを置かれているのに対して、バックパッカーは現地人と深く交流することに重きを置いていることにあります。現地人と同じ物を食べ、現地人と同じ交通手段で行動し、現地人と遊び、現地人のよく行く酒場へ行き、現地人とグラスを交わす、このようなことをしていると、時には現地人のお宅へお邪魔したり、うちの娘を嫁にどうだ、などと言われたり、ゲイにナンパされサウナに誘われたりもします。最高です。

バックパッカースタイルの旅をするようになったきっかけはいくつかありますが、一つは大学の講義中に読んでいた小説です。その小説は沢木耕太郎の『深夜特急』。26 歳の筆者がインドのデリーからイギリスのロンドンまで、乗り合いバスで行くという内容です。5年間に及ぶ受験勉強を終え、燃え尽き症候群となり目標を失っていた私にとっての光でありバイブルでした。彼の旅をなぞるように旅を始めました。ローカルバスでジャワ島を横断したり、スニーカーとジーパンでヒマラヤに登ったり、マカオのカジノで全財産をかけた勝負に負け野宿したり、パレスチナでデモに参加したり、様々な旅をするうちに世界中に友達ができ、かけがえのない経験を沢山しました。

このように大学時代は最高な冒険の連続でした。社会人になって今までしてきたような冒険は終わりましたが、これから整形外科医としての冒険が始まりました。これからご迷惑をおかけすることの多数あると思いますが、一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

呼吸器内科レジデント　森田　優

4月より呼吸器内科医師として勤務しております、森田 優（もりた ゆたか）と申します。出身は高知市朝倉で、高知学芸高校を卒業後に徳島大学へと進学し、徳島県立中央病院での初期研修の後に徳島大学呼吸器・膠原病内科に入局しました。

幼稚園から高校まで朝倉に通っておりましたので、高知病院の周辺は通学路でしたが、その時はここで自分が勤務するとは想像もしていませんでした。医師として高知県で勤務することは初めてですが、スタッフも患者さんもとても穏和な方が多い気がします。医師としても呼吸器内科医としてもまだまだ未熟な面も多いですが、多くの経験を積むことで生まれ育った高知県の医療に少しでも貢献できるように頑張ってまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

臨床研修医　住田　智志

4月からお世話になっております、初期研修医2年目の住田 智志（すみだ さとし）と申します。徳島大学病院における研修プログラムの一環として、9月までの半年間、当院での診療活動に参加させていただきます。

出身は徳島県で、徳島大学を卒業後、徳島県内の複数の病院で研修を行ってまいりました。そしてこの度、ご縁がありまして当院での研修をスタートしたところです。同じ四国の隣の県ではありますが、四国山地を境に景色も言葉もまるで違っており、時にはそのギャップに慣れないこともあります。しかし、先生方をはじめ、スタッフの皆様方には丁寧にご指導いただき、そして患者様より温かく接していただける中での研修は非常に楽しく、実りのあるものになると確信しております。

経験年数も浅く拙いことばかりで多々ご迷惑をおかけするかと思いますが、皆様方のお役に少しでも立てるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

臨床研修医　清水　茂翔

初めまして、4月よりお世話になっております、清水 茂翔(しみず しげと)と申します。大学は高知大学を卒業しました。何を書こうかと考えた結果、紹介記事なので、自分を皆様に知ってもらおうと思い、私の大学での生活について書こうと思いました。しかしながら、思い返してみると、私の大学での生活は、可もなく不可もなくで、あっという間に時が経ち、これと言って特記することのない6年間でした。20歳を過ぎると、人生の体感時間は半分を過ぎているといいますが、まさにその通りでした。国立高知での2年間はこのようなことがないよう、一日、一日を噛み締めながら一生懸命に生き、日々成長し、わずかでも患者さんのお役にたてるよう精進したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。

臨床研修医　藤原　利輝

この度、初期臨床研修医として勤務させていただきます、藤原 利輝（ふじわら としき）と申します。出身は大阪府岸和田市ですが高知大学医学部に入学し、今年の3月に卒業しました。学生時代はワンダーフォーゲル部に入部しており四国の自然が大変気に入り、また地域枠で入学した為そのまま高知で就職させていただくこととなりました。医師1年目で分からない事だらけですが、頑張って仕事に慣れていきたいと思います。初期研修での目標は、臨床業務に慣れ、明確な意志で専門科を決めることと共に、余力があれば論文発表等も参加させていただけたらと思っています。

精一杯、国立高知病院を味わい尽くして研修医生活を終えるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医　和田　秀之

初めまして、この4月より初期臨床研修医としてお世話になっております、和田 秀之と申します。

元々高校までは生まれも育ちも高知県でしたが、大学は大阪の関西医科大学で今回久しぶりに地元に帰ってきました。数年ぶりともなると街並みの変化など驚かされる点も多く、住みなれた場所で研修生活を送りたいという思いに反して、むしろ新鮮な気持ちで毎日を送らせていただいています。

一方で気候や環境は慣れたもので体調はいい調子なのですが、仕事の方はなかなか好調とはいかず、先生方や医療スタッフの方々に支えていただきどうにか日々を過ごしております。恵まれた環境にいることを痛感しつつも、甘えてばかりもいられないという思いももちろんあり、一日でも早く仕事を覚え皆様のお役にたてるよう努力していきたいと思います。至らぬ点ばかりでご迷惑をおかけすることと思いますが、これからどうかよろしくお願い致します。

新任職員紹介

副看護部長　大張　博代

この度、徳島病院より転勤して参りました、大張 博代（おおばり ひろよ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

高知には、日曜市とよさこい祭りを見に来たことがあります。徳島にも阿波踊りがありますが、よさこい祭りの音響や衣装・踊りの迫力、華やかな姿に圧倒されたことを覚えています。そして、食べ物がおいしいという印象です。鰹のたたき、いもけんぴ、トマト・・・食いしん坊の私にとって、高知はとっても魅力的なところです。

高知病院の一員として「心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院となる」ことを目指して、微力ながら、すべきことを一生懸命！をモットーにがんばっていきたいと思います。

看護師長　安藝　寿美

4月から徳島病院より転勤して参りました。安藝 寿美（あき としみ）と申します。生まれてこの方徳島から出たことがなく、初めての県外生活を経験しております。慢性期病棟の経験が長く「患者様に寄り添う看護とは」と自分自身に、またスタッフに、問いかけながら看護に携わってきました。環境が変わり、少し戸惑いを感じていましたが、この機会をチャンスと考え、頑張ろうと思っています。周囲の皆様の温かい心で迎えられ、感謝しております。いつも笑顔が絶えない明るい病棟をめざして、スタッフと協力し患者様を支援していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

看護師長　隅田　美紀

4月1日付けで四国こどもとおとなの医療センターより転勤してまいりました。5階北看護師長の隅田 美紀（すみだ みき）と申します。7年前に師長への昇任にて香川へ単身赴任し、この度、高知に戻ってまいりました。四国こどもとおとなの医療センターでは、重症心身障害児者病棟、整形外科病棟、児童精神科を経験し、‘患者様・御家族様に寄り添った看護をしたい’と、病棟のスタッフと頑張ってきました。戻ってきたとはいえ、変わっていることも多く戸惑いを感じています。スタッフと共に、患者様の思いに沿った看護が行えるように頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

副薬剤部長　山足　敏昭

4月1日付で副薬剤部長として赴任いたしました山足 敏昭（やまあし としあき）と申します。出身は岡山県井原市という広島県との県境のまちで育ちました。

卒業後、下関（現 関門医療センター）で採用となり、岡山→呉→米子と転勤し、高知病院で5施設目となります。前任の施設では、化学療法病棟（血液内科、呼吸器内･外科、消化器外科、泌尿器科などの抗がん剤投与行う病棟）にて、服薬指導を行っていました。今まで主に救急病院を転勤してきて、重心、結核病棟がある病院は初めての勤務になります。戸惑うことも多いですが、優秀な薬剤部のスタッフにフォローされながら、なんとか業務をこなしています。まだまだご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、ご指導よろしくお願いいたします。

副診療放射線技師長　須内　光明

この度4月1日付けで四国がんセンターより異動して参りました須内 光明と申します。高知病院では2000年10月から2008年3月まで勤務しておりました。10年ぶりの高知病院勤務となりうれしく思っております。見慣れた顔の方々も健在で、ほっとしているところであります。

四国がんセンターでは放射線治療技師として9年近く、放射線治療にどっぷりつかっておりました。今回の異動で9年ぶりに診断領域に戻ることとなり少しリハビリに時間が必要かと感じているところです。

プライベートでは10年前、独身で高知病院を出て行ったのですがその後、結婚し子供も3人授かりました。今回の異動では家族も一緒に来ておりますので、日々仕事に家庭にと追われ忙しくしております。

皆様には色々とご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

照射主任　北迫　郁雄

皆さん、初めまして。この度、4月1日付けで高松医療センターより照射主任として赴任して参りました。北迫 郁雄（きたさこ いくお）と申します。出身は、薔薇町でも有名な広島県の福山市です。最初の施設は、国立大竹病院（広島西医療センター）でそして、鳥取米子、福山、高松と高知病院で5施設目になります。もともと身体を動かすのが好きで、行く先々の施設でスキーや硬式テニス、バドミントン、卓球、バレーボール、釣り、と色々教えていただきました。今は、バドミントンを同僚の吉田さんに誘われて週一度、職員の皆さんと一緒に楽しく汗を流しております。まだ、不慣れな私で、スタッフの皆さんにご迷惑おかけすると思いますが、一日も早く慣れて高知病院の一員として認めてもらえるよう頑張っていきますので宜しくお願い致します。

理学療法士長　原田　敏昭

4月よりリハビリテーション科、理学療法士長として赴任しております原田 敏昭（はらだ としあき）と申します。高知病院は原病院（現広島西医療センターと統合）、呉医療センター附属リハビリテーション学院、関門医療センター、柳井医療センターと5施設目となります。出身は長崎県五島列島（現五島市）、現在は広島（世界遺産安芸の宮島の近く）に自宅があります。高知を含め近くに「海」がある地域と縁があると思っています。

高知病院に赴任してからの印象は右も左も分からない私に病院のみなさんがとても親切に対応していただいていることにありがたく思っています。とても明るく働きやすい職場だと感じています。また高知は初めての土地ですので、おすすめの場所、食べ物などいろいろと教えていただければと思います。

まだまだ分からないことが多くありますが、高知病院の一員、リハビリテーション科の一員としてがんばっていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

理学療法士　濵田　穂乃香

この度、4月1日付で香川県の四国こどもとおとなの医療センターより転勤して参りました、リハビリテーション科で理学療法士をしております濵田 穂乃香（はまだ ほのか）と申します。出身はカツオの一本釣りの町、高知県中土佐町久礼です。理学療法士としては、4年前に高知リハビリテーション学院を卒業し、香川県にて新社会人として様々な経験を積ませていただきました。四国こどもとおとなの医療センターでは、主に成人の整形外科と脳神経外科を中心にリハビリを担当しており、初めての呼吸器外科や内科、消化器外科で日々勉強の毎日です。

現在はリハビリテーション科の先輩方や医師の先生方、看護師の方々をはじめ、転勤時よりたくさんのスタッフの方々に助けていただき、なんとか業務をこなしている状態です。なるだけ早く、高知病院の一員として、患者様やご家族に寄り添えられるような理学療法士となれるように精進していきたいと思いますので、これからよろしくお願い申し上げます。

児童指導員　栗山　百合恵

この度、松江医療センターより異動して参りました。児童指導員の栗山 百合恵 (くりやま ゆりえ) と申します。

日本海とは違う太平洋の暑い日差しを久しぶりに感じ、高知に帰ってきたなと思い日々を過ごしています。地元は香南市です。高知市内での一人暮らしは初めてのことでドキドキした気持ちもあり、実家に帰るまでのドライブを楽しんでいます。

児童指導員という職種に関してイメージがあまりわかない方もおられるかもしれません。重症心身障害児者の方々の療養生活における支援をさせていただいています。長期入院の中で少しでも実りある生活になるように努めていきたいと思っています。

これまで経験してきたことを活かしながら、全力でやっていきたいと思います。高知病院は、花火大会や運動会という行事があると知り、楽しみにやってきました。高知ならではのよさこいもあり、さらにワクワクしています。懐かしさを感じながら、利用者の皆さま、ご家族、職員と一緒に楽しんでいきたいと思います。よろしくお願いいたします。

保育士　廣瀬　沙矢香

この度、4月より愛媛医療センターより転勤してきました、廣瀬 沙矢香（ひろせ さやか）と申します。愛媛県が初任地で、道後温泉やみかんなどに親しみながら暖かい季候の中、5年間勤務させていただきました。高知県も「南国市」があるように、南の国のように暖かい土地の中、温かいみなさんの中で生活させていただけるのを嬉しく思っています。出身地は徳島県なのですが、親戚が高知県に住んでいることもあり、幼い頃より何度も高知県には来る機会がありましたので、親しみを感じています。しかし、高知県での生活自体は初めてなのでドキドキしつつ、ワクワクしています。

当院では、重症心身障害病棟の利用者さんの支援をさせていただき、利用者さんの生活が充実できるように尽力していきたいと思っています。少しでも早く、高知病院の利用者さんや高知県の魅力を発見していきながら、せっかくいただいたご縁を大切にして、「高知」の仲間になれたらと思っています。よろしくお願いします。

財務管理係長　宮地　貴広

4月1日付けで四国こどもとおとなの医療センターより転勤して参りました宮地 貴広（みやじ たかひろ）と申します。高知県出身で5年ぶりの高知での勤務になります。すばらしい環境に囲まれた病院で、温かい職員の皆様に迎えていただき、院内を歩いておりますと「帰って来て良かったね」と声をかけていただくこともあり、毎日が充実した日々を過ごさせていただいております。

今の体型からは想像できないと思われますが、趣味はサッカーで5年前までは社会人のクラブに入っていました。健康維持（ダイエット）のためにまた始めようと思っています。業務では患者様と接する機会も多く、また職員の皆様のご協力がなければ出来ないこともありますので、ご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

新採用職員紹介

看護師　上甫木　佐和

はじめまして。4月1日より6階南病棟で看護師として勤務しています。上甫木 佐和（かみほき さわ）と申します。

出身は高知市で私立土佐女子中学・高等学校を卒業しました。幼少時代、ドキュメント番組などで被災地で活躍する看護師の姿をみて私も看護師になりたいと考え、当院に附属している看護学校に進学し3年間看護を学んでまいりました。

休日は友達と食事をしながらおしゃべりをすることやお菓子づくりでストレス発散しています。

私は、患者さん1人1人と向き合い、信頼される看護師を目指していきたいです。知識不足で、覚えること学ぶことがたくさんありますが、たくさん食べて体力をつけて精一杯頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

看護師　中村　早穂

4月より１階中病棟で看護師として勤務させていただいております、中村 早穂 (なかむら さほ) と申します。出身は須崎市です。小学生の頃より看護師を志し、当院の附属の看護学校を卒業しました。

社会人としての新しい生活に不安でいっぱいでしたが、病棟の皆様が温かく迎えてくださり、緊張が緩和されました。プリセプターの方をはじめ、先輩方よりご指導をいただきながら、患者さんと向き合うことの大切さ、看護師としての責任感を実感しながら日々たくさんのことを学ばせて頂いています。まだまだ分からないことばかりでご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、これから看護師として患者様の生命と真剣に向き合い患者様にとってより良い看護を常に考えながら、自分自身の行動に責任をもって日々精進していきたいと思います。少しでも早くできることが増えるように努力していきます。これからよろしくお願いいたします。

助産師　兒島　伶

４月から当院の４階南病棟で勤務をさせていただいております、兒島 伶と申します。島根出身ですが、進学のため高知に参り、この春卒業しました。高知は気候が温暖で、なにより高知の方々のお人柄に惹かれ、とても居心地の良さを感じています。

以前、当院のインターンシップに参加した際、分娩の場に立ち会わせていただきました。毎回の陣痛ごとに細やかに声をかける医療者とその声に頷きながらお産に取り組む姿が見られ、産婦さんと医療者の間に一体感を感じたことを印象深く覚えています。

夢であった助産師として働けることに喜びを感じる一方で、まだまだわからないことも多く、不安や緊張の毎日ですが、先輩方より温かいご指導やサポートを頂きながら日々学んでいます。

笑顔を忘れず、常に患者さんやご家族の気持ちに寄り添い、支えていける存在となれるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

臨床検査技師　山下　満愛

この度、４月１日より当院の臨床検査科で臨床検査技師として勤務させて頂いております、山下 満愛（やました まな）と申します。

出身は広島県で、岡山の大学で４年間学び、この春高知に参りました。高知県は初めてで、新しい環境で社会人としての生活が始まり不安なことも多くありますが、1日でも早く今の環境に慣れ、自然豊かで食べ物の美味しい高知県を満喫したいと思っております。

先輩方からアドバイスを頂きながら知識や技術、経験を積むことで患者様に信頼して頂ける臨床検査技師になれるよう、常に向上心を持ち業務に励んでいきたいと思っております。まだまだ不慣れで至らないところが多くありますが、これからもよろしくお願いいたします。

作業療法士　山本　竜也

この度、４月１日付より国立病院機構高知病院で務めさせて頂くこととなりました、作業療法士の山本 竜也（やまもと たつや）と申します。出身は徳島で今までは徳島の病院で４年間務めていました。高知県へは学生の実習で数週間程お世話になったことがありましたが、当院で務めさせて頂くのは初めてとなります。こちらへきて数週間ですが、高知の方は温かく接してくださる方が多い印象です。また多くの偉人を排出されている歴史ある土地で私は坂本竜馬の大ファンということもあり高知県へ来られたのも何かのご縁だと感じております。まだまだ環境にも仕事にも慣れていない未熟者ではありますが、大器晩成を座右の銘に当院に、地域の皆様に少しでも還元していけるよう日々精進して参りたいと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

診療科紹介（リウマチ科）

リウマチ科医長
松森　昭憲

リウマチ科は関節リウマチや全身性エリテマトーデスなど、いわゆる膠原病･自己免疫疾患を診療の主な対象としています。関節リウマチは手指、手関節の痛みや腫れを認めることが多く適切に治療を行わなければ関節、骨の変形が進行し日常生活に支障をきたすことになります。全身性エリテマトーデスなど関節リウマチ以外の膠原病は関節痛の他、発熱、皮膚や肺、腎臓の病変を認め、時には致死的な病状を示す場合もあります。このため多発関節痛や原因不明の発熱などの初期症状から早期診断と全身的な病態の把握に努め、抗リウマチ薬、ステロイド薬、生物学的製剤などによる薬物療法を積極的に行い寛解・予後改善を目指しています。特に関節リウマチに著効を示す生物学的製剤は従来の抗リウマチ薬を上回る効果を示す薬剤ですが、高価である上、感染症誘発の可能性があり、症例を選んで使用しています。関節リウマチの原因は遺伝以外に喫煙などの環境因子が考えられていますが詳細は不明とされています。野菜、果物、魚、肉などのいずれかをあまり食べていないことで必要なビタミン、ミネラル、EPA／DHAが不足し感染症や薬の副作用が生じやすくなっている場合があり、当科では特に食事を中心に患者に生活指導を行っています。

診療科紹介（眼科）

眼科医師
戸田　祐子

目はたくさんの情報をうけとる大切な器官です。
皆様の「見える」を快適に保てるようお手伝いしたいと考えています。
総合病院の眼科として他部門と連携し治療を行っています。

- 糖尿病：内科や栄養士とともに、失明の予防、糖尿病網膜症の検査・治療をしています。
- エタンブトール（結核などの治療薬）等使用中は副作用チェック、副作用の早期発見に努めています。
- 白内障：定期検査をしつつ、必要時には基本的に1泊入院で手術を行います。体の病気がある際には主治医と連絡をとり対処致します。
- 緑内障：視野検査、眼圧検査などで経過をみつつ点眼治療等を行います。
- 視神経炎やぶどう膜炎、強膜炎は全身疾患の一つの症状として目にでることがあります。原因により治療が異なりますので、他科と連携し必要に応じ血液検査やCT・MRIなどで精査し治療を行っています。
- 疾患によっては見にくさがでる場合があります。その際はお持ちの視機能を活かせる工夫を視能訓練士、看護師と一緒に考えます、また役場や福祉機関と連携致します。
- 眼瞼痙攣に局所への注射療法などの治療をしています。眼瞼痙攣は目の違和感、まぶしさ、つむっているほうが楽などの症状があります。ストレスや薬剤が関連することがあります。

検査・診察の上、適応があれば局所への注射療法を行います。注射は個人差がありますが3か月から半年程度で効果が切れることが多く必要に応じ注射を継続します。

硝子体手術や網膜剥離手術、緑内障手術などは他眼科様と連携し治療にあたります。
目のことでお困りのことや気になる症状があればぜひ眼科受診をお願いします。

～第一回～
高知病院谷淳吉記念賞

3月22日(木)第一回「高知病院谷淳吉記念賞」の表彰式を執り行いました。

谷淳吉記念賞は、当院の前身である旧国立療養所東高知病院の元院長故谷淳吉先生の奥様からのご寄付を元に創設され、学会等の発表において高い評価を受けた職員、模範となる業績を上げた職員などを対象としています。

今回の第一回の表彰式では高知病院の診療の質の向上に寄与するなど、優れた功績を挙げた7名の職員が賞を受賞しました。表彰式では、大串院長から祝辞が述べられるとともに谷淳吉記念賞の創設の趣旨についてお言葉をいただき、受賞者ひとりひとりに賞状と副賞が手渡されました。表彰された職員はみなさん笑顔で、この賞が職員の励みに繋がるものと改めて感じることができました。

最後になりましたが、故谷淳吉先生の奥様のご厚意に深く感謝いたしますとともに、谷先生のご冥福をお祈りいたします。

栄養管理室だより
～栄養食事指導について～

主任栄養士（栄養管理室長代理）
永野　由香里

栄養管理室では医師の指示のもと、入院患者様おひとりおひとりに合ったお食事の提供をはじめ、管理栄養士による入院中の栄養管理、栄養食事指導（入院・外来）の実施とともにチーム医療（栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム等）にも参加をしています。

栄養食事指導は入院と外来で行っており、管理栄養士が患者様の病態や生活環境などに配慮し、継続して実践できるプランのご提案をさせていただいております。

栄養食事指導のおもな対象は、糖尿病、腎臓病、高血圧、心臓病、脂質異常症、肝臓病、貧血、痛風、胃・十二指腸潰瘍、消化器官の術後、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）、摂食嚥下障害、がん、低栄養などです。入院患者様は病棟で、外来患者様は1階の栄養相談室で、各種資料や必要に応じてフードモデルを提示するなどして実施しています。栄養食事指導を通じて患者様の食生活の改善や栄養面でのサポートができれば幸いです。

栄養食事指導は保険診療として医師の指示に従って行います。ご希望の患者様は主治医にご相談ください。

感染管理室だより

平成30年度のICTの活動とASTについて

副看護師長
河村　ひとみ

「ICT」とは　Infection Control Team の略で「感染対策チーム」のことです。院内感染予防対策委員会に属する実働部隊で、院内感染制御のための活動を行っています。

当院の ICT メンバー

○医師……岩原内科医長、岡野呼吸器内科医長、町田アレルギー科医長

○看護師……若林看護師長（感染管理認定看護師）、河村副看護師長（感染管理認定看護師）
山本医療安全管理係長、安藝看護師長（ICT リンクナース委員会副委員長）
森木看護師長（ICT リンクナース委員会副委員長）

○臨床検査技師…岩村臨床検査技師、森本臨床検査技師

○薬剤師……田中薬剤師、西川薬剤師

○事務……丸尾専門職

このようなメンバーで、病院感染対策の充実のため様々な活動を行っています。代表的な活動としては、院内ラウンドがあり、現場に出向いて改善点などの提案をさせていただいています。今年度は、病棟には週１回（報告書を作成するラウンドは３回 / 年）、病棟以外の部署には１回 /2 ヶ月又は１回 /6 ヶ月、計画をしています。その他、感染管理研修や、院外施設との合同カンファレンス、病院相互訪問などの活動も行っています。

また、今年度から「AST」が発足となりました。「AST」とは Antimicrobial　Stewardship　Team の略で「抗菌薬適正使用支援チーム」のことです。感染症治療の早期モニタリングとフィードバック、微生物検査・臨床検査の利用の適正化、抗菌薬適正使用に係る評価等を行い、抗菌薬の適正な使用の推進を行っていきます。AST の構成メンバーは、ICT の中の医師、薬剤師、臨床検査技師、感染管理認定看護師で組織されています。

院内外を問わず、感染対策についての問題や疑問、抗菌薬に関することなど、ICT 又は AST にご相談ください。解決、改善できるよう、一緒に検討していきたいと思っています。今後とも「ICT」及び「AST」をよろしくお願いします。

医療安全管理室だより

医療安全への取り組み紹介

医療安全管理係長
山本　三恵

医療安全管理室係長6年目の山本です、よろしくお願いします。

医療安全の目指すところは、「医療現場におけるエラーを防ぎ事故を防止すること」です。人間は誰でも間違えるという特性を持っています。そのため、今までは間違いを防ぐためのシステムを構築するという話をしてきました。しかし、エラーは発生するものです。エラーが発生した際の対応もとても重要です。

医療事故発生時には過誤の有無に関わらず、まずは患者の救命に努めます。適切に救命・処置をするためには、何が起きたのか、患者への影響度はどの程度なのか、何が原因と思われるのか等の報告を上司に行います。重大な事故の場合は、臨時の医療安全管理委員会を開催し、情報の共有と事故の原因を検証し、患者救命の対応者の決定、患者・家族への説明者の決定等を検討します。医療過誤が明白な場合は、患者・家族への対応を当事者でなく、その上司、または医療安全管理室が行う、などの対応内容と対応者を決定します。そして、国立病院機構中国四国グループへの報告、必要であれば弁護士への依頼等を行うなど組織的に行動します。この事故発生時の対応は医療安全管理マニュアルに綴じていますので、職員の方々は是非確認をしてください。

しかし、マニュアルを読むだけでは、自分がどのように行動するのかイメージができにくいのではないかと考え、マニュアルを可視化（DVD 録画）しました。タイトルは『医療事故発生時の対応』です。内容は、「アレルギー薬剤を誤って投与し、患者が死亡。病院はマニュアルに沿って、組織的な対応を行ったが、家族が納得できずメディアに訴えてしまった」という想定です。これを見れば、事故発生時の組織的な病院の行動を知ることができると思います。重大事故の場合は、当事者が委員会に招集されますが、その際に委員会でどのような話し合いが行われているのか等が見えるようになっています。

このビデオは事故対応研修で毎年、視聴研修を行っております。今年は 10 月に予定しております。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

看護学校だより

第56期生 入学式

看護学校
弘松　洋美

春風が心弾ませる新しい季節、看護師になるという希望をもって第 56 期生 40 名が本校に入学してまいりました。入学式が始まる前は、落ち着かず、不安そうな表情をしている学生もいました。しかし、式が始まると表情は一変し、一人ずつ名前を呼ばれその場に立ち上がる時、代表者が宣誓の言葉を述べている時のみんなの表情は、これからの学校生活へ向けての決意や希望が表れているようでした。いつまでも今の気持ちを忘れずに、理想とする看護師を目指してほしいです。

在校生も、教室やロビーを装飾で飾り、入学生を迎え入れる準備を整え、当日もそれぞれの役割をしっかりと果たしてくれました。これからも、先輩として新入生の目指すべき目標でいてもらいたいと思います。

今まで別々の環境にいた 40 名の学生が、これからは同じ目標をもって 3 年間、勉学に励んでいきます。その途中では壁に当たったり、挫折したり、心が折れてしまったりすることもあると思います。そんな時、みんなで支え合えるような第 56 期生の関係性を築いていってほしと思います。そのためには、私たち教員も一丸となり、学生をサポートしていきたいと考えています。

在校生が歓迎の気持ちを込めて作りました!!

在校生よりあたたかい歓迎の言葉☆

新入生の代表が、学校長に向けて宣誓の言葉を述べました

地域医療連携室だより

看護師長
西本　美香

住み慣れた地域で継続して生活できるよう、患者の状態に応じた支援体制や地域との連携が求められており、今年度診療報酬改定が行われました。入退院の体制整備や、外来・入院時から退院後の生活を見据えた支援を行っていくことが必要となります。地域医療連携室は、院内連携の充実に向けて入退院システムの見直しを行い多職種と共同した支援を行うため体制を整備しております。患者・家族の視点に立った支援が行えるよう取り組んでいきますので、御協力よろしくお願いします。新年度のメンバーとして、馬庭看護師、矢野看護師が配置となりました。メンバーと協力し、連携していきたいと思います。

第144回 高知病診連携フォーラムのご案内【日時：平成30年5月16日（水）18:30～20:00】

「増えている前立腺がん～正しい知識と早期発見のために～」
●執印 太郎 先生／高知大医学部附属病院 院長

「泌尿器科疾患のプライマリケア～血尿を考える～」
●井上 啓史 教授／高知大医学部泌尿器科学講座

「夜間頻尿ピットフォール」
●斉藤 源顕 教授／高知大医学部薬理学講座

場所：国立病院機構高知病院 2階地域医療研修センター

問い合わせ先：地域医療連携室　088-828-4465　**ご参加お待ちしています。**

★新メンバー紹介★

看護師
馬庭　千鶴子

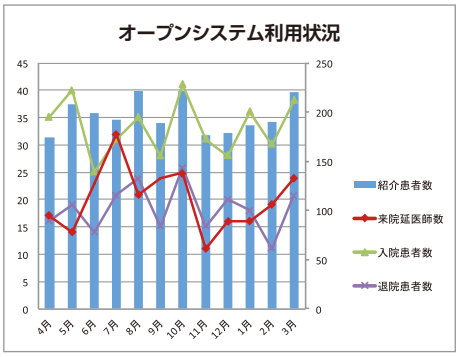
4月より人事異動で地域連携室に配属となりました。今までは病棟勤務の中で円滑な退院支援を見据え、患者様やそのご家族様の思いを大切に 関わってまいりました。現在は、病棟での経験を生かしつつ病院の顔として前方支援・後方支援の対応を学んでおります。また、併せて診療報酬改定に伴う「入院時支援加算」 取得のため、入院前から患者様を支援させていただく「入院支援室」開設に向けて院内のシステム作りに努力・邁進しております。よろしくお願いいたします。

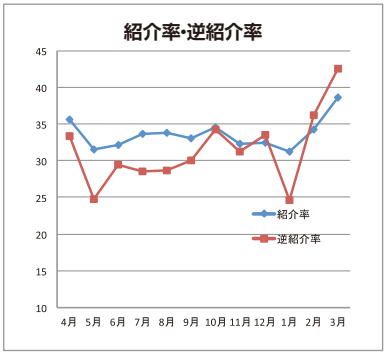
★新メンバー紹介★

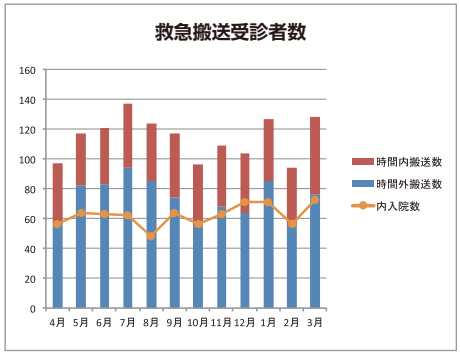
看護師
矢野　愛

5月1日から配属となりました。これまでは病棟勤務の中で患者様やご家族と関わってまいりましたが、今後はその経験を活かし相手の立場にたった支援が行えるよう努力していきたいと思います。分からないことばかりですが、精一杯頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

高知病院地域連携等概況







職員の異動

1月2日付～4月1日付の人事異動（常勤）

退　職

▶ H30.3.31

整形外科医師	小林　亨
呼吸器外科医師	坂本　晋一
婦人科医師	小林　文子
小児科医師	齊藤　晃士
麻酔科医師	松岡　弥生
呼吸器内科医師	田岡　隆成
呼吸器内科医師	今西　志乃
呼吸器外科レジデント	松本　大昌
消化器内科レジデント	栗原　健士
外科レジデント	山本麻梨乃
臨床研修医	森田　崇継
臨床研修医	吉本　康高
臨床研修医	桑名　駿介
看護師長	柴田　美栄
看護師	尾﨑千津子
看護師	中平　貞子
看護師	池田麻里子
看護師	西原　道代
理学療法士	津田　泰路
臨床検査技師	下村　孟史

定年退職

▶ H30.3.31

副看護師長	萩野ユカリ
看護師	岩橋　京子
看護師	南　祥子
看護師	安藤　和代
准看護師	畑山　小浪
准看護師	西村真理子

任期満了

▶ H30.3.31

自動車運転手	髙田　英司

転　出

▶ H30.4.1

泌尿器科医師	大河内寿夫
事務部長	山田　茂晴
看護部長	長谷川美加
副看護部長	松下　愛子
看護師長	細谷千恵子
副看護師長	山本　美恵
副看護師長	濵村　早代
副薬剤部長	和田　一也
副診療放射線技師長	槙納　伸二
照射主任	定岡　大祐
理学療法士長	馬渕　勝
作業療法士	北　大介
療育指導室長	村重　薫
保育士	林　瞳
財務管理係長	藤井　千明

採　用

▶ H30.4.1

泌尿器科医師	島本　力
呼吸器外科医師	森下　敦司
小児科医師	松岡　文弥
婦人科医師	今泉　絢貴
消化器内科医師	岡崎　潤
整形外科レジデント	西殿　圭祐
呼吸器内科レジデント	森田　優
臨床研修医	住田　智志
臨床研修医	清水　茂翔
臨床研修医	藤原　利輝
臨床研修医	和田　秀之
看護師	伊井　円香
助産師	兒島　伶
看護師	西森　文香
看護師	松田　真侑
看護師	久米　瞳子
看護師	近藤　澄子
看護師	上甫木佐和
看護師	中村　早穂
看護師	宮本　朱香
看護師	上村　瑠輝
看護師	大石菜々美
臨床検査技師	山下　満愛
作業療法士	山本　竜也

転　入

▶ H30.4.1

外科医長	本田　純子
事務部長	淺松　誠治
看護部長	矢野いづみ
副看護部長	大張　博代
看護師長	安藝　寿美
看護師長	隅田　美紀
看護師	瀧口加奈子
看護師	田中　利佳
看護師	倉本みゆき
副薬剤部長	山足　敏昭
副診療放射線技師長	須内　光明
照射主任	北迫　郁雄
理学療法士長	原田　敏昭
理学療法士	濵田穂乃香
児童指導員	栗山百合恵
保育士	廣瀬沙矢香
財務管理係長	宮地　貴広
財務管理係（経理係）	屋口　有香

勤務延長

▶ H30.4.1

院長	大串　文隆
統括診療部長	井上　修志

再 雇 用

▶ H30.4.1

調理師	杉内　茂春
看護助手	山下和香子
看護師	萩野ユカリ
看護師	安藤　和代
看護師	田所　恵子
准看護師	西村真理子

昇　任

▶ H30.4.1

副看護師長	竹長　幸子
副看護師長	畑中麻里子

併　任

▶ H30.4.1

整形外科医師	合田有一郎
診療情報管理室長補佐	島村　嘉人

外来診療担当医表

（平成30年4月16日現在）

■受付時間　8:00～11:00
■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日

独立行政法人
国立病院機構　高知病院
〒780-8077　高知県高知市朝倉西町１丁目２番25号
TEL（088）844-3111　FAX（088）843-6385
http://www.kochihp.com

診療科	区分・診察室番号			月	火	水	木	金
内科	午前	1 診	⑫	門田・町田（隔週）	森田・木村（隔週）	岡野・井上（隔週）	岡崎・篠原（隔週）	畠山・矢葺（隔週）
		特別外来	⑪	松森（糖尿病）	岩原（血液）	松森（糖尿病）	岩原（内科）	松森（糖尿病）
	午後	専門外来				化学物質過敏症（予約制）		
神経内科			⑰	不定期（院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。）				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1 診	⑧	篠原　勉	大串　文隆（予約制）	畠山　暢生	大串　文隆（紹介のみ）	岡野　義夫
		2 診	⑥・⑫			森田　優	町田　久典	篠原　勉
		3 診				大串　文隆		門田　直樹
	午後	専門外来					禁煙外来 14:00～15:30（予約制）	
消化器内科	午前		⑨	井上･中西	池田　敬洋	岡崎　潤	井上　修志	池田　敬洋
循環器内科	午前		⑦	山﨑　隆志	西村　直己		山﨑　隆志	
	午後		⑦			伊藤　いづみ 受付13:30～16:00	ペースメーカー （第2木曜）	
リウマチ科			⑩	松森　昭憲 （糖尿病も診察）		大串　文隆 （予約のみ）		松森　昭憲 （糖尿病も診察）
小児科	午前	1 診	①	武市　知己	大石　尚文	武市　知己	小倉　英郎	大石　尚文
		2 診	②	大石　尚文		寺内　芳彦	武市　知己	高橋　芳夫
		3 診	③	寺内　芳彦	井上　和男	小倉由紀子	井上　和男	
	午後	専門外来		神経・アレルギー （第2月曜 医大循環器）	アレルギー 循環器	乳児健診	アレルギー NICU フォローアップ	神経・内分泌・腎臓 乳児健診
		予防接種		14:00～16:00（予約制）	14:00～16:00（予約制）	14:00～16:00（予約制）	14:00～16:00（予約制）	14:00～16:00（予約制）
外科 消化器外科 小児外科	午前		⑤	吉川　雅登	福山　充俊 （乳がん検診も実施）	山崎　誠司	福山　充俊 （乳がん検診も実施）	花岡　潤
	午後	専門外来		吉川　雅登 （ヘルニア外来）13:00～14:00	福山　充俊 （乳腺外来）		福山　充俊 （乳腺外来）	花岡　潤 （肝臓･胆道･膵臓外来）
呼吸器外科	午前		⑧		先山　正二		先山　正二	
			⑦		日野　弘之		日野　弘之	
乳腺科	午前		⑦			本田　純子		
	午後		⑧			本田　純子 受付15:30まで		本田　純子 受付15:30まで
整形外科	午前		①	福田　昇司（予約制）		西殿　圭祐	福田　昇司	合田有一郎
			②	西殿　圭祐				
	午後		②	骨粗鬆症 13:00～15:00（予約制）			田村　竜也（予約制）	
脳神経外科	午前	1 診	⑧	非常勤 10:00～12:00		非常勤 9:00～11:00（予約制） 予約外の方はお問い合わせ下さい		
皮膚科	午前		⑬	高橋　綾	高橋　綾	高橋　綾	高橋　綾	高橋　綾
泌尿器科	午前		⑨	渡邊　裕修	島本　力	佐竹　宏文	渡邊　裕修	佐竹　宏文
			⑦	佐竹　宏文 診察開始 10:00～				島本　力 診察開始 10:00～
産科	午前		㉟	滝川　稚也	福家　義雄	福家　義雄	今泉　絢貴	予約制
						1ヶ月検診		
	午後			超音波外来（予約制）				
婦人科	午前		㉛	木下　宏実	今泉　絢貴	木下　宏実	滝川　稚也	木下　宏実
					クーポンがん検診 （予約制）10:30～11:30		クーポンがん検診 （予約制）10:30～11:30	
	午後							思春期外来（予約制）
眼科	午前		㉓	戸田　祐子	戸田　祐子	戸田　祐子	戸田　祐子	戸田　祐子
耳鼻咽喉科	午前		⑯	岩﨑・内藤	岩﨑・内藤	岩﨑・内藤	岩﨑・内藤	岩﨑・内藤
	午後							
放射線科				小松　幸久	塩田　博文	小松　幸久	塩田　博文	小松　幸久

※内科の１診は、月曜日から金曜日まで全て、医師１名担当の交代制となっています。
※市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日の午前中外科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外科までお問い合わせください。
※当日の受付は午前11:00までとなっております。

赤ちゃんからお年寄りまで健康で笑顔

2018 健康フェスタ

日時 平成30年5月12日(土) 10:00～15:00

場所 独立行政法人国立病院機構高知病院

オープニング 10:00～10:30
朝倉中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏

エンディング 14:00～14:30
高知学芸中学高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏

体験コーナー

- 起震車による地震体験 [10:15～15:00]
- アロママッサージ体験 [10:15～15:00]
- 手術室見学ツアー [10:20～14:30]
- 手洗い体験 [10:15～15:00]
- 救急時の対応を身につけよう 救命処置法・AED体験 [10:15～15:00]
- 妊婦・高齢者体験 [10:15～15:00]
- 検査データ説明コーナー [10:15～14:30] 骨密度検査・顕微鏡体験・生化学検査照会
- お菓子で調剤体験 [10:15～14:30]
- 安全運転サポートカー体験 [10:15～14:30]
- あなたは大丈夫？サルコペニアチェック [10:15～14:30]
- ベビーマッサージ(10組限定) [10:30～12:00]

★健康相談コーナー

[10:15～14:30]
- 健康相談
  医師、薬剤師、看護師、管理栄養士

高知家 健康パスポート
★健康相談コーナー
★市民公開講座
上記のいずれかに参加する方は
ポイントシールを交付いたします。

こどもコーナー

[10:15～14:30]
- キッズコーナー・プロジェクションマッピング 作って遊ぼう・大型作品作り
- キャラクターつりガチャポン
- 未来のドクター、ナースに変身！ 写真撮影

パネル展示・ビデオ紹介

[10:00～14:30]
- 高知病院の看護の姿
- 放射線検査と機器紹介

スタンプラリー

- ジュース、アイスクリン(景品)

展示コーナー

[10:00～14:30]

乗車体験
- 救急車（高知市消防局）
- パトカー・白バイ(高知県警察)

販売コーナー

[10:00～14:30]
- 農産物等販売 (コスモス農業協同組合<JAコスモス>)
- 手作り作品の展示販売 (高知大学教育学部附属特別支援学校)
- 植物加工品等販売 (高知県立春野高等学校)

★市民公開講座

1F 外来待合 11:00～12:00

テーマ「がん早期発見は検診から」

座長	副院長	先山 正二
講師	消化器内科医師	岡崎 潤
	乳腺科医長	本田 純子

連絡先:国立病院機構高知病院　http://www.kochihp.com/　管理課 和田　TEL.088-844-3111